

犬のかゆみについて

皮膚のかゆみは放置すると慢性化したり、症状の悪化にもつながります。身体をかきむしることで体重が減少したり、他の症状に拡散したりする危険性もあります。また精神的に不安定になるなど、QOL（生活の質）の低下やご家族とのトラブルにもつながります。

1 症状

◆遊んでいるとき、散歩中、食事中などでも、身体をかきだすことがある。

◆皮膚の赤み、プツプツ、多すぎるフケ、血がにじんでいるなど、皮膚の炎症を伴っている。

◆広範囲に毛が抜ける、皮膚がベタベタしがちなど、皮膚の外観が変わってきた。

◆かゆがる耳から膿が出る、いやな臭いがしている。（外耳炎で、耳がかゆいことがあります。）

◆目を擦りつけることがある。（目の周囲は、かきむしることで角膜を傷つけてしまうので注意が必要です。）

上記の症状は単独で出現することもあれば、複数が同時期に出現することもあります。

細菌等の二次感染を起こすと重篤化してしまうこともありますので
お早めにご来院ください。

2 考えられる原因

◆犬アトピー性皮膚炎

◆食物アレルギー

◆ノミアレルギー性皮膚炎

◆疥癬・耳疥癬

◆膿皮症（のうひしょう）

◆マラセチア皮膚炎

◆免疫の問題でおこる皮膚病や、皮膚に発生するがん

◆内分泌疾患
